

京都ビルメン ニュース

平成22年度臨時総会を盛大に開催!!

公益法人への移行申請に向けて再確認

京都ビルメンテナンス協会では、平成22年9月27日(月)、午後1時30分より「平成22年度臨時総会」を開催いたしました。

総務厚生委員会副委員長の森田氏が司会を務め、冒頭、植西会長より「公益社団法人への移行申請に基づき、定款の変更が求められています。皆さんのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。」と挨拶を述べられました。更に、矢口名誉会長からは、定款変更に基づ

く補足説明や趣旨について説明が行われ、総会審議に入りました。まずは現行定款第26条の規定に基づき本臨時総会が成立したことを宣し、次に定款第25条の規定により議長選任について議場に諮り、奥本英昭氏を選任した。

就任した、奥本氏が審議を進め第1号議案の定款変更について総務厚生員会委員長山元氏より説明が行われ意見交換等行われ、結果全会一致で可決されました。引き

続き、第2号議案の公益社団法人認定申請、第3号議案平成22年度予算内容の変更についても、山元委員長から議場に説明があり、満場一致で承認可決されました。

以上において、特に重要事項であった定款変更について、承認可決したことを踏まえ、いよいよ公益社団法人認定申請、認定に向けて京都ビルメンテナンス協会会員全員が一致団結し、進めて行く事を再確認した。

(広報委員会)



安全衛生大会標語 京都協会受賞作品

今一度 日々の作業を見直して 基本に忠実 事故は無し
 災害は、慣れと過信と油断から。初心にかえって安全作業
 時間のゆとりは 心のゆとり 焦る気持ちが 事故を呼ぶ

石 河 のり子
 渡 辺 真 一
 清 水 貴 哉

中信興産
 中央保健工業社
 オリックス・ファシリティーズ

平成22年度 経営開発セミナー開催 第1回テーマ「ビル管理分野における省エネルギーについて」 9/15 中小企業会館

去る9月15日中小企業会館におきまして、今年度第1回経営開発セミナー「ビル管理分野における省エネルギーについて」を開催いたしましたところ、例会に引き続き40名を超える多くの会員様にご参加いただきました。

昨年京都で行われましたビルメン



フューマンフェア'09及び前年度第2回、セミナーで当委員会が主催しました、ビルメンの将来を語り合うワークショップにおいて、多くの参加者から素晴らしい夢を語っていただきました。中には宇宙ステーションのガラス掃除などもありましたが、特に環境ビジネスへの取り組みについては多くの方からご意見が出ておりました。

今回のセミナーは、環境ビジネスにおいては特にハードルの高い「省エネビジネス」にフォーカスしましたが、今日の現況を考えますと、少なくとも知識としてお持ちいただけたらと考えました。講師には京都の

優良メーカー等とタイアップし多くの提案などの実績がある、アイビムス(株)の神林専務をお迎えし、温暖化の現状、新省エネ法、都条例など概要、省エネ導入事例、ビルメンの取り組み、省エネ技術などを中心に、我々には大変難解な内容にも関わらず、わかりやすく解説をいただきました。参加者からも今後の新しいビジネスとして関心を強く示された方も多く、今回の省エネセミナーが各社ニュービジネス取り組みへの第1歩となることを祈りつつ、本セミナーは盛況のうちに終えることができました。

なお、今後ともセミナー開催だけでなく、各社様の経営開発のヒントになる催事を実施致したく検討しております。是非とも忌憚のないご意見ご要望をお寄せください。

(経営開発委員会)

受講者全員が合格!清掃作業講習会「中級」及び「上級」開催

8/12 京都市朱雀工房

京都ビルメンテナンス協会の公益事業の一環として、精神障がい者授産施設「京都市朱雀工房」において清掃作業講習会「中級」及び「上級」が行われました。

「初級」過程を終了された方の中からさらにレベルアップを希望され

る11名の方が受講され、座学では清掃・清潔の知識を学び、実技ではタオルからホウキ、モップへと、求められるスキルも徐々に上っていく内容でした。

講習会最終日には試験もあり、皆さん緊張された面持ちで臨んでおら

れましたが、無事全員が合格し、修了証書を受け取ることができました。

今後は「アビリンピック」への参加も視野に入れた取り組みが続けられていく予定です。(公益事業推進委員会)



四国地区ビルメンテナンス協会青年部会員交流会

9/10 丸亀町レッツ



交流会を通じて・・・

今回参加させていただき、四国地区における青年部の結束力を感じました。近畿ブロックにおいては各協会様々な事情があり、なかなかこういった交流会を設けられないのが現

状ですが、今後青年部の活動を通じて各ブロックが交流会を開催し全国大会に繋げていけたらと思います。

また、交流勉強会は今回の全国大会のフォーラムに通ずるものもあり、協会を通じて各自治体に対して毅然たる態度と確固たる内容の議案を提出していけたら各企業及び地域発展に繋がると思います。(青年部会)

平成22年度「安全衛生大会」開かれる

10/7 京都テルサ

去る10月7日、平成22年度京都ビルメンテナンス業安全衛生大会が、京都テルサにおいて、200名を超える参加のもと盛大に開催されました。

第1部は、主催者及び来賓の挨拶に続き、京都上労働基準監督署の牧野署長より「ビルメンテナンス業における労働災害防止対策」についての特別講習があり、豊富な資料を参

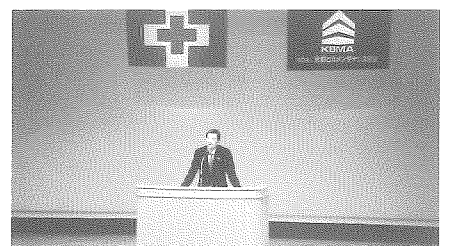
考にしながら、大変解りやすくお話しをして頂きました。

続いて京都府警本部の婦警さんから、高齢者や自転車の交通事故防止についてお話があり、事故を減らすための注意点について参加者全員が理解を深めることができました。

第2部では、桂三風師匠の創作落語「ハンカチ」が披露され、その熱

演ぶりに会場は爆笑に包まれました。

最後に、各職場・事業所単位で労働災害を撲滅していく重要性を再確認して、大会は無事終了となりました。(安全衛生委員会)



第32回全国障害者技能競技大会

10/15 横浜アリーナ

第32回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)が横浜アリーナにて、平成22年10月15日(金)10:00より開会されました。

翌日16日、ビルクリーニング競技大会に全国より19名(男性17名、女性2名)の各都道府県の代表が参加し、午前9:00~課題1 カーペット清掃(所要時間7分)、午後12:30~課題2 弾性床清掃および机上清掃(所要時間12分)の競技が行われました。

京都府代表の井上直樹さん(ティー・エス・ケー)は、午前の部ではBコート 9番目、午後の部ではAコート 2番目で出場しました。

課題1では、そつなく作業を終え、タイムは5分21秒でした。課題2では一部順番を間違えたものの、タイムを9分16秒でまとめ、作業を終了しました。

AコートとBコートの2面で競技が行われましたが、競技者19名の為、最終1名の競技になる都合上、最後に京都府代表の井上さんが再度、意欲的に競技に参加し、満足のゆく競技で締めくくる事ができました。

結果、翌10月17日(日)横浜ラポールにて9:00~の発表では、見事に銅賞に輝きました。

金賞は神奈川県代表の川端貴之さん、銀賞は福岡県代表の田中保奈美さんに決まりました。

この大会を通して、職業能力の向上と雇用促進・地位向上の目的を多くの方々に理解して頂けたと確信しております。今後とも京都ビルメンテナンス協会にさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

弊社スタッフ井上直樹君においては、この度アビリンピック京都大会優勝、全国大会第3位という輝かしい成績を残されたことについて心から祝福を申し上げます。今後は周りの期待も大きくなりますが、次回の全国優勝、ビルクリーニング技能士資格取得などを目標に一層の努力を

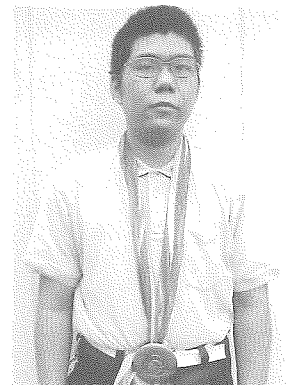
続けて頂くよう期待しております。

弊社は、地域におけるCSR活動の一貫として障害者雇用の取組みを進めて参りました。中長期の就業前実習や、採用後の障害者職業生活相談員による定期面談等で定着促進を図っており、今回の結果は一つの目に見える成果として大きな励みとなりました。今後は井上君に続く人材を育成するべく鋭意努力して参ります。

末筆になりますが、今回の結果に当たり多大なお力添えを下さいました京都ビルメンテナンス協会様、京都府高齢障害者雇用支援協会様、また、実習から今日まで井上君に成長の場を提供し、永きにわたり暖かいご支援を下さいました栄仁会 宇治おうばく病院様に心より御礼を申し上げます。

(株)ティー・エス・ケー 担当者
(公益事業推進委員会)

全国大会銅賞の井上直樹君



心のステーション

去る、平成22年9月9日に大丸6F多目的ホールにおきまして、京都府下の養護学校・総合支援学校・盲学校が集い、各学校の特色を活かし、生徒が主体となり陳列・宣伝・販売



を行いました。こういった取り組みは、社会や人の流れを実地体験学習することにより、生徒達が社会に出る予行練習の場であります。

Pm13:45頃ステージでは京都府立桃山養護学校の生徒(男子2・女子2)によるビルメンテナンスの実演発表が始まりました。課題は3項目で下記の通りです。(公益事業推進委員会)



課題1：窓ガラスをホワイトボードに見立て、タオル仕上げ作業。
作業手順：外周(四隅)の角を二往復しながら反時計回りで進める。→ホワイトボードを2分の1づつ横拭き(八つ折り)濡れタオル→右→左に縦拭き(十六折り)乾いたタオル→拭き忘れ等がないかチェック→終了
課題2：机タオル仕上げ作業。
作業手順：外周→横拭き→縦拭き(濡れタオル)→外周→横拭き→縦拭き(乾いたタオル)→拭き忘れ等がないかチェック→終了
課題3：自在ボークの押し掃き・押さえ掃き作業。
作業手順：入口から右方向に反時計回りで押し掃き→半分まで来たところから入口に向かって押さえ掃き→左隅にたまったゴミを中央にもって来てちり取りで採る→一周・中央と掃き忘れ等でゴミは残っていないかチェック→終了

